



「市町募集事務担当者課長等会議」を支援



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之^一等陸佐）は、5月30日（火）、陸上自衛隊富士学校（駿東郡小山町）で行われた「平成29年度市町自衛官募集事務担当課長等会議」に協力した。

これは、毎年静岡県が主催し、募集事務を担当している各市町の担当課長等に対して募集事務要領や静岡県の自衛隊募集状況について説明するとともに、部隊研修を通じて自衛隊の現状等を確認してもらうもの。

当日は、今年度の募集活動における重点市町に指定された静岡市を含む7市町による「自衛官募集施策」の発表があり、駅構内の巨大モニターを使用した自衛隊のCM映像の広告や、自衛隊の各種協力団体との連携による「地域イベントを活用した自衛官募集ブース等の提供」といった各市町担当者の日頃からの創意工夫した各種施策が示された。

その後、第105全般支援大隊の支援により、90式・100式各戦車等を整備する整備工場、自衛隊創設以前から現在までの貴重な資料や歴代の装備品等を展示した資料館の見学を行い、自衛隊の歴史と隊員の職場環境等を身近で確認した。

参加者からは「自衛官が働く充実した施設や環境を見学することが出来たので、それを踏まえ募集事務担当者として積極的に発信していきたい」といった感想が聞かれた。

静岡地本は、今後も各自治体の募集事務担当者と緊密に連携を図り、募集基盤の充実と熱意ある志願者の確保に努めていく。

沼津の中学校で中部航空音楽隊が演奏会



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之^一等陸佐）は、5月30日（火）、沼津市立第五中学校（校長・奥村篤氏）において実施された航空自衛隊中部航空音楽隊（浜松基地）による音楽演奏会に協力した。

これは、自衛隊音楽隊の演奏する本物の音楽演奏を通じて自衛隊を知ってもらい、自衛隊の活動への理解や関心を少しでも高めてもらう目的で実施された。

午前中に行われた音楽隊のリハーサルに合わせて、同校吹奏楽部への演奏指導も併せて実施された。短い時間ではあったが、プロの演奏指導を受けた学生達は目を輝かせて熱心に取り組んでいた。

午後からは、体育館に集まった約400人の全校生徒と、約300人の保護者等を前に演奏会が開かれ、前半は中部航空音楽隊による演奏、後半は同校吹奏楽部との合同演奏が行われた。

前半の演奏では、航空自衛隊で活躍するアクロバットチームをイメージして作曲された「ブルーインパルス」や映画が話題となった「美女と野獣メドレー」等で観衆を魅了するとともに、合同演奏した「宝島」では、音楽隊長のリードで全員が手拍子を行い、会場が一体になって盛り上がる等の大盛況であった。

参加した教諭は「是非またこのような自衛隊に触れる機会を設け、技術指導や演奏会を開いて頂きたい」と話し、音楽隊側も「学生と交流出来る良い機会だった。他の中学校や高校へも広げていきたい」と今回の成果を実感した感想を語った。

静岡地本は、今後も県内の各学校との連携を強化し、学生と自衛隊が直接交流出来る場を実現していくとともに、自衛隊への関心向上や志望者の増加に努めていく。